



山王台だより11月号

令和4年10月31日
横浜市立山王台小学校
〒235-0016
横浜市磯子区磯子5丁目2-1
TEL: 045(755)1107

【学校教育目標】自分のよさに気づき、相手の気持ちを大切にしながら、ともに高め合って生きる



学び方の土台を作る時

校長 遠藤 清美

先月には本校体育館改修工事に関して、保護者の皆様、近隣住民の皆様にも多大なるご心配とご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。また、2度目の繊維状物質の目安値超えが起こり、3日間は屋外での活動は行わない、屋外に面した窓は閉じておくなど、今学校ができる限りの対応を行いながらの教育活動にご理解をいただきまして、誠に感謝申し上げます。その成分分析の結果、アスベストは目安値未満であることが確認されましたので、ご報告いたします。

後期に入り子どもたちは新たな目標を掲げて、学校生活を過ごしております。校外学習も始まり、10月19日(水)～20日(木)には5年生が三浦宿泊体験学習に行きました。1日目は曇天の肌寒い日でしたがシーカヤックやキャンドルファイヤーを楽しみました。2日目は晴天に恵まれ社会科の学習を兼ねた農業体験をしてきました。農業を営んでいる方から三浦に適している野菜について講義を受けた後、畑に移動して収穫体験をさせていただきました。どの活動も子どもたちにとって、学校の中では味わえない貴重な体験となりました。また、友達と一緒に風呂に入ったり、泊まったりした思い出は、大人になっても忘れないことでしょう。5年生は初めての宿泊体験学習となり不安な気持ちの子どももいたことと思いますが、5年生全員参加できました。これもご家庭の支えがあつてのことです。保護者の皆様には、健康管理や荷物の準備、お弁当の用意など、ご協力をいただきましてありがとうございました。

10月14日(金)に第3回学校運営協議会を開催しました。今回は委員の皆さんと教職員が本校の中期取組目標の三つのプラン、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」について、子どもの変容や、課題などについて意見交換を行いました。そこで挙がった意見を一部ですが紹介いたします。

- ・自己肯定感を育てることが大事だと思いました。それには、親のかかわりが重要ではありませんが、学校の先生や地域の大人が認めてあげる環境を作ることが必要だと思いました。
- ・「食」「家庭学習」「時間の使い方」など、学校だけでなく各家庭でも意識しないと改善しないので、より多くの保護者に意識してもらうことが大事だと感じました。
- ・失敗を恐れず、積み上げ、経験を増やしていけば良いというのは大人の発想。子どもにとって失敗は恥と思うのは当然。どのように失敗を評価していくのが重要だと思います。

学ぶことは学校だけではなく一生続いていきます。今はその学び方の土台を作っている段階です。「失敗は成功のもと」といいますが、そこから這い上がれる強い心と体力をつけることも大切です。「知・徳・体」のバランスが取れた豊かな子どもたちを育てていくために、「学校・家庭・地域」がこれからも一丸となって山王台小の子どもたちを見守っていただけると幸いです。